

航空輸送における

安全マネジメント フォーラム

安全文化を実践的に考える

当財団では、航空安全の普及啓蒙活動の一環として、近年、安全マネジメントシステム (SMS) をテーマに取り組んできております。本年度はこのSMSの実施に欠くことのできない安全文化の発展と継続、報告する文化、公正な文化に焦点をあて、国内外より講師をお招きして、フォーラムを開催します。



日時 **2011年1月28日 金 10:30~17:15**

会場 **日経ホール** (東京都千代田区大手町1-3-7)

定員 **600名** (事前登録制・参加無料)

申し込みは ATEC ホームページ (<http://www.atec.or.jp>) より

講演項目

*同時通訳あり

- 講演 1 「安全文化の発展と継続について」
Patrick Hudson氏 オランダ・ライデン大学教授、デルフト工科大学教授
- 講演 2 「米国の自発的な航空安全報告システム (ASRS)
— Aviation Safety Reporting is Essential to Safety Improvements —」
Linda J. Connell氏 NASA Ames Research Center ASRS 部長
- 講演 3 「航空事故における【調査】と【捜査】の競合する問題
— 原因究明を優先する社会をめざして —」
池田 良彦氏 東海大学法学部教授
- 講演 4 「State Safety Program と報告の文化について」
渡邊 良氏 国土交通省航空局監理部航空安全推進課 課長